

# 大熊町を

## 端から端まで

### 知りつくそう!

## ●第5回 幼稚園

昭和五十一年四月一日四歳児二クラスと五歳児三クラスに増えた。昭和五十三年四月二日に新園舎(熊川字緑ヶ丘二十四番地)完成。遊具も新たに増設された。



熊町幼稚園第一回卒園記念

通園の途中は、野イチゴをとって食べたりにして季節を感じながら過ごしていたように思います。今思えば貴重な体験です。平成生まれの子供たちは野イチゴを学校の行き帰りに食べていますか。野イチゴはおいしかったですよ。黄色くて大きいやつ。今のゴルフ練

習場の道沿いにあった。今は「不潔」とか怒られるかな。部屋は熊町小学校の一階の一番東の部屋で、元は図工室でした。無理やり作った感じで、北側に畳が敷いてありました。遊び場やお昼寝のスペース。子供たちのお気に入り。このスペースを与えてくれた職員の方に感謝します。

最初の楽しみは、「紙芝居」。今のビデオにかわる当時の唯一の楽しみです。『いつもビデオじゃつまらないからたまに紙芝居』じゃなくて、『紙芝居しかない』状態です。先生方の名調子が始まると私たちはわくわくしながら話に聞き入っていました。でもあまり種類がなく、同じ話を何度も聞いていたような気がします。

# ふるさと再発見

## 公共施設を訪ねて

### 幼稚園の沿革

○熊町幼稚園は、昭和四十五年五月一日熊町小学校内に併設され、開園した。

当初は、四、五歳児一クラスで、園長は小学校の校長が兼務し、校舎の周囲の自然活動や学校の図書室でのゆきとお話(紙芝居)での保育が始まった。

昭和五十年四月五日園舎を旧大熊中学校熊町分室南校舎に移転した。

昭和五十五年四月一日四歳児三クラス五歳児三クラスとなり、内外とも充実した熊町幼稚園となった。

○大野幼稚園は昭和四十七年五月一日旧大野小学校(南校舎)内に併設され開園した。

当初は、四歳児一クラスと五歳児一クラスで、教師は二人で、園長は小学校の校長が兼務し、園の行事の運動会・学習発表会は小学校と一緒に行った。

昭和五十二年四月一日に園舎を新築(野上字諏訪三一二

### あれから何年?

#### 熊町幼稚園第一回卒園生

#### 高田 吉弘

今はスクールバスが毎朝走っていますが、当時は雨の日も歩いて通っていました。約一キロ。(遠い子は二キロ)子供の足には大変でした。鬼のような父兄? そんなことはありません。この先を読み進んでいただければ、当時の世相や周りの方々の愛情がひしひしと感じられます。

通園の途中は、野イチゴを

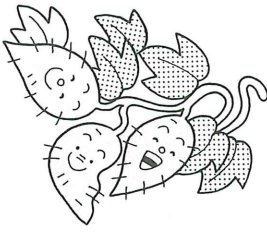
(番地)落成、四歳児二クラスと五歳児二クラスに増えた。昭和五十四年三月十五日ゆき室完成・昭和五十五年四月一日園庭整備・緑陰砂場を完成し、すばらしい大野幼稚園となった。

次なる楽しみは「おやつ」は、保護者の方の差し入れがあったように記憶しています。「ケーキ」のご馳走も数回ありました。「蒸かしたサツマイモ」がいい思い出です。差し入れてくださった方の家で収穫されたであろう形も大き

さもまちまちのサツマイモです。私たちは大喜びでほおばっていました。今思えば、まさに手作りのおやつで自然の甘さ、食物繊維豊富な健康食品です、保護者の方に深く感謝します。

とても関係者の皆さんに大事にしていたで過ぎてしました。誤解しないで頂きたいのは、「今は大事にしていない」のではなく、「当時は出来たばかりで何にもなかったので、協力して工夫していたんだ」と感じているのです。

月並みですが、「手作り幼稚園」だったんですね。当時の関係者の皆様、改めてありがとうございます。



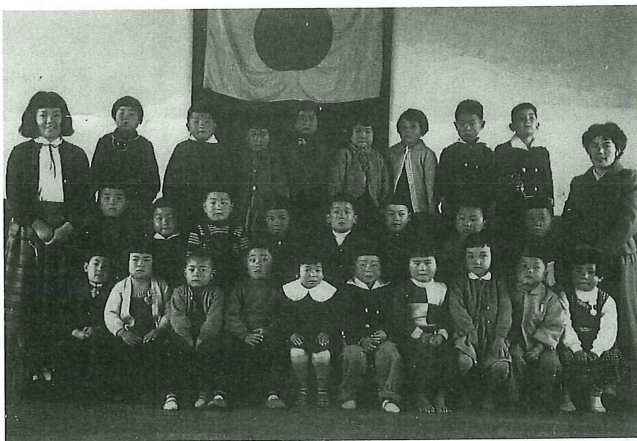
## 幼稚園の始まりのはじまりは？

大野幼稚園設立の二年前、昭和四十五年、農繁期の幼児教育のため、諏訪神社に季節幼稚園が設けられた。田植え時期と稲刈り時期だけの幼稚園は二年間続けられた後、地域住民の願いが叶って昭和四十七年に開園された。その時の園児数は二十七名、最も多い平成元年は一八一名、最近十周年記念誌より)

園庭には、桜、いちよう、松などの大きな木がある。この木々は小学校の敷地だった頃からのもので、春の桜、夏の緑陰、秋の落葉と自然たっぷりの環境に恵まれている。親子二代で通園している方も多い。園を訪れた時を経て大きく育った木々に懐かしさを感じられる方も多いのではないだろうか。

## 教会幼稚園について

町立幼稚園設立から二十年以上前の一九五二年「大野こども聖書学園」(教会幼稚園)が開園された。現在の福島第一聖書バプテスト教会である。主に大野一、二区と教会近くの子ども達が続いていた。聖書の教えに従った行事やイエス誕生を祝うクリスマス会などには、園舎から溢れる程の人々が集い、冬だというのにその熱気で汗だくになった事が思い出される。山羊の乳の



1952年 昭和30年頃

味を知ったのもこの時だった。この私立幼稚園は昭和五十一年に閉鎖されたが、園舎は多少修理され、現在も使用されている。

## 三十周年に思う

大野幼稚園第一回卒園生

菅野柳子

卒園式の写真は今でも手元があり、写真に記された『第一回』の文字を見るたびに誇りを感じております。

在園途中から、男の子は紺色の、女の子は臙脂色のベレー帽をかぶって通園するようになったと記憶しています。父兄の方には好評のようでしたが、私自身は、色も形も全て嫌いでした。今ならお酒落で可愛いと思うのに何故だろうと考えておりまして、それは、私もあつという間に



昭和47年度大野幼稚園第一回卒園記念

歳をとり、当時の父兄と同じぐらいの歳になったからだというあまりにも簡単な答えにたどり着き、現実を思い知らされ、一人苦笑いした次第です。卒園生の皆さんや先生方も、この節目にいろいろな思いに耽っている事でしょう。(写真と文は大野幼稚園三十周年記念誌より抜粋しました)